



# 環境経営レポート

2021

活動の期間 2020.4.1–2021.3.31



公益財団法人 岡山県環境保全事業団

発行日 2021年9月1日

# 目 次



理事長メッセージ	1
経営理念、環境経営方針	2
法人概要、組織図	3
事業活動内容、財務ハイライト	4
中期経営計画策定におけるマテリアリティ（重要課題）の特定	5
廃棄物処理処分事業	6
分析測定・環境調査事業	11
エコアクション21中核地域事務局業務	13
環境学習事業	14
生物調査・環境緑化事業	18
私たちの働く環境	20
地域貢献活動	22
安全衛生活動	24
全団活動	26
環境経営目標と実績	27
環境経営計画とその実績	28
代表者による全体の評価と見直しの結果、環境関連法規等の遵守状況	30
許可事項	31

公益財団法人岡山県環境保全事業団は、岡山県内において環境保全のための各種事業を幅広く実施し、快適な地域社会の実現に貢献することを目的に1974年に設立されました。

# 理事長メッセージ



皆様方には平素から当事業団の活動に格別のご高配を賜りありがとうございます。

岡山県環境保全事業団は、1974年(昭和49年)に設立され、「地球環境の保全」、「良好な生活環境の確保」、「資源循環型社会の形成」および「自然共生社会の形成」等、快適で持続可能な地域社会の実現に寄与することを目的とし、行政施策と協調しながら多様な事業に積極的に取り組んでいる公益財団法人です。

2020年度は、主に以下の取組を行いました。

- 「平成30年7月豪雨」により発生した災害廃棄物、災害発生土砂の受入
- 新たに建設する資源化施設の環境影響評価、許認可手続き、建設業者決定
- エコアクション21地域事務局の山口県を除く中国4県の中核地域事務局としての事業開始
- コロナ禍においても事業を継続するための「事業継続計画の策定」及び「ITツール等を活用した情報発信」
- 地域社会の一員としてSDGsの達成に貢献することを目指した「第6期中期経営計画」の策定

エコアクション21の環境経営システムに基づく活動では、省エネルギー、水使用量削減のための設備導入、日常点検による施設の安定稼働等に取り組み、エネルギー使用量については一部目標をクリアできない事業所があったものの、廃棄物量・水使用量については全ての対象事業所において削減目標を達成することができました。

また、全組織活動では、「安全衛生第一」、「環境トップランナー」「SS」と「ムダ・ムラ・ムリ」を改善し、活きる時間につくることを常に意識しながら、「安全パトロール」「コロナ対策」「SS」「提案制度による改善活動」等を行いました。

2021年度は「第6期中期経営計画」の初年度であり、2050年カーボンニュートラルを見据えながら、当事業団の経営理念「わたしたちは環境関連事業を通して社会の持続的発展に貢献します」を念頭に多様な事業を開拓し、皆様方のご期待に応えられるように、全職員が同心協力し努力を続けていく所存ですので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 岡山県環境保全事業団

理事長 坂井俊英

# 経営理念

わたしたちは環境関連事業を通して  
社会の持続的発展に貢献します

## 経営基本方針

- 新しい価値と質の高い環境関連事業を提供します
- 誠実で透明性の高い経営で社会の信頼に応えます
- 働きがいと公正な機会のある職場をつくります
- 地域社会の一員としてSDGsの達成に貢献します

## 行動規範

- 社会倫理を重んじ規律・約束を守ります (倫理観)
- 自ら考え、自ら計画し、自ら行動します (主体性)
- 志を高く、枠を超えて、仕事に取り組みます (チャレンジ)
- 対話を大事にし、思いと方向性を共有します (同心協働)

## 環境経営方針

私たちが取り組む事業は、気候変動の緩和と適応、資源の循環、生物多様性などの地球環境と深い関わりがあることを認識し、経営理念である「わたしたちは環境関連事業を通して社会の持続的発展に貢献します」を実行するため、経営における課題とチャンスを主体的に捉え、同心協働して解決に取り組みます。

- 1 廃棄物の適正な処理処分と資源化、環境の調査・分析、緑の創出・管理、さらには県民への環境学習、事業者へのエコアクション21普及などの事業を通して、循環型社会の形成、地球温暖化防止、自然共生社会の形成、環境意識の普及・高揚に貢献します。
- 2 2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向かって、すべての事業において省エネルギー、省資源、化学物質管理に積極的に取り組み、環境負荷の低減を図るとともに、環境汚染を予防します。
- 3 資機材等のサプライヤーへ環境経営に関する取組の働きかけを行います。

4 環境関連の法令・条例および協定を遵守します。

5 環境経営方針、目標は経営における課題とチャンスを踏まえて定期的な見直しを行い、環境経営システムの継続的な改善を図ります。

6 環境経営方針は、事業団で働くすべての人に周知徹底するとともに公開します。

2021年4月1日

公益財団法人 岡山県環境保全事業団

理事長 坂井俊英



# 法人概要

(2021年8月1日現在)

■名 称 公益財団法人 岡山県環境保全事業団

■設 立 1974年10月1日

■役職員数 評議員 14名 理事 9名 監事 3名  
職員 117名

## ■所在地 内尾事務所

(〒701-0212 岡山県岡山市南区内尾665-1)

## 水島管理事務所

(〒712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通1-18)

## 環境学習センター「アスエコ」

(〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井2-2-10)

## 倉敷資源化センター

(〒712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通1-18)

■代 表 理事長 坂井 俊英

■出捐総額 16億2,650万円

■出捐状況 地方自治体6、企業45、企業組合等5、計56団体

## 岡山県自然保護センター(指定管理施設)

(〒709-0524 岡山県和気郡和気町田賀730)

## 津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザ

(〒709-4611 岡山県津山市領家1446)

## 阿新建設残土センター

(〒718-0306 岡山県新見市哲多町矢戸地内)

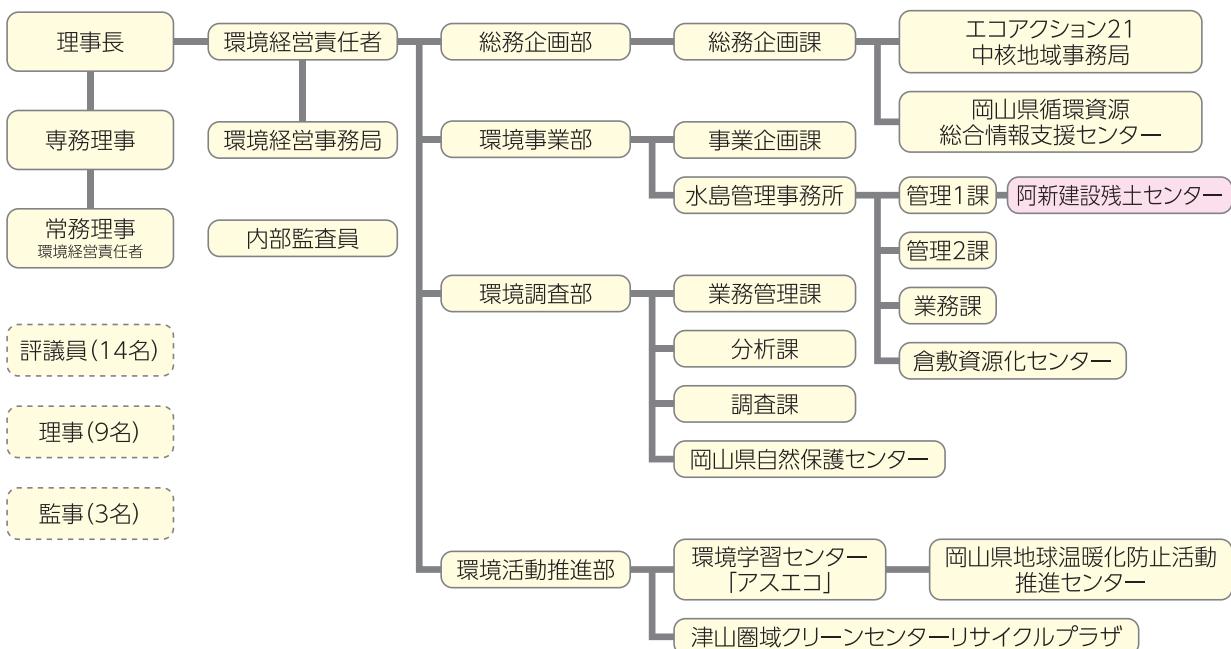
※赤字表示は、エコアクション21に基づく  
環境経営システム対象事業所

## ■環境経営責任者及び担当者

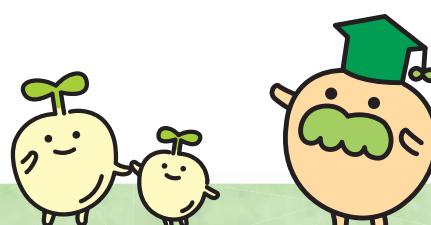
環境経営責任者：常務理事 小林 利昭

担当者 : 総務企画部 谷口 瑞穂 (連絡先:086-298-2122)

# 組織図



※■はエコアクション21活動対象外(2021年4月1日現在)



# 事業活動内容

(2021年8月1日現在)

## 廃棄物処理処分事業

水島埋立処分場  
水島クリーンセンター  
倉敷資源化センター  
岡山県循環資源  
総合情報支援センター  
建設残土センター

## 環境学習事業

環境学習センター「アスエコ」  
岡山県地球温暖化防止活動推進センター  
津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザ

## エコアクション21中核地域事務局事業

## 資源循環型社会の形成

## 地球環境の保全

## 良好な生活環境の確保

## 自然共生社会の形成

## 分析測定事業 環境調査事業

## 生物調査事業 環境緑化事業

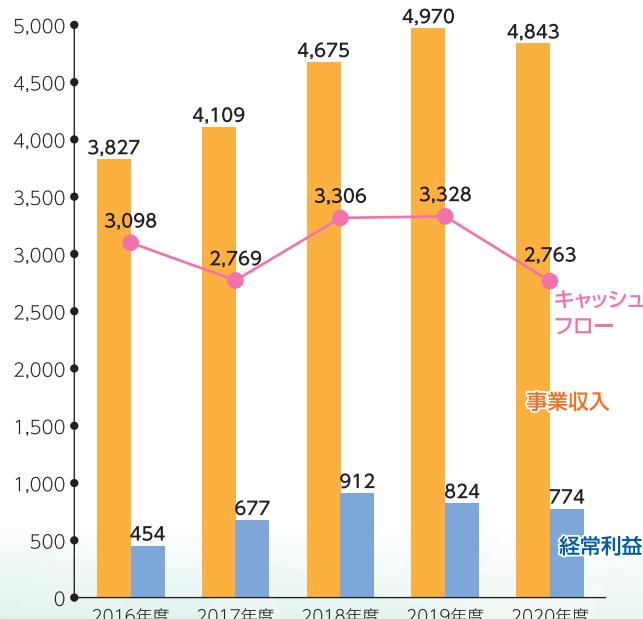
岡山県自然保護センター

※ ■は、エコアクション21活動対象外

# 財務ハイライト

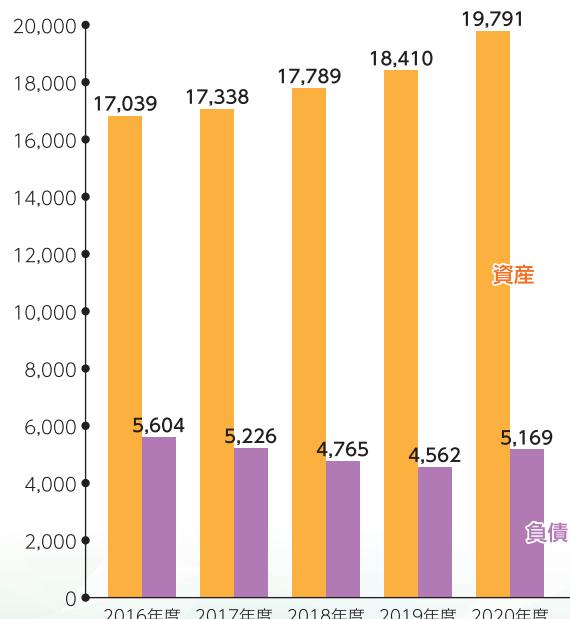
## 事業収入・経常利益・キャッシュフロー

(百万円)



## 資産負債合計

(百万円)



# 中期経営計画策定におけるマテリアリティ(重要課題)の特定

2020年の第6期中期経営計画(2021~2023)の策定にあたっては、SDGs(Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)の理念や視点を取り入れることが、わたしたちの事業活動をさらに改善していくことにつながると考え、以下のプロセスでマテリアリティ(重要課題)の特定を行いました。

## STEP1

17のゴールと169のターゲットのうち、事業団事業と関連性が高いゴールとターゲットを抽出(17ゴール→11ゴール、169ターゲット→37ターゲット)

## STEP2

「事業団への影響度」「社会的な期待度」の2軸でターゲットを評価し、特に重要性の高いターゲットを絞り込み(37ターゲット→18ターゲット)

## STEP3

絞り込みを行った11ゴールと18ターゲットを重要課題として中期経営計画に反映

また、地域社会の一員としてSDGsの達成に貢献することを経営基本方針に加えました。

この新たにSDGsの達成を目指した第6期中期経営計画に取り組むことで経営理念である「わたしたちは環境関連事業を通して社会の持続的発展に貢献します」を実現していきたいと考えています。

## SDGsマテリアリティ



職員説明会

作成した中期経営計画は職員説明会を行い、当事業団の「ミッション」、「ビジョン」、「SDGsの検討プロセス」を理事長自ら説明を行い、「部門目標」を各部長が説明しました。多くの職員が参加し、質疑応答を行い、双方の想いを意見交換できる場となりました。

# 廃棄物処理処分事業



## 水島処分場

昭和54年から埋立事業を実施し、廃棄物の受入から処理処分まで一貫した管理運営を行いました。



### 水島処分場（第二処分場）の概要

- ・処理施設の種類：管理型最終処分場
- ・埋立面積（容量）約23万m<sup>2</sup>（約240万m<sup>3</sup>）
- ・残容量：334,000m<sup>3</sup>（2021年3月）

### 埋立処理実績



## 平成30年7月豪雨災害による災害廃棄物の処理について

水島処分場では、浸水被害による大量の災害廃棄物を迅速に処理できるように仮置き場及び処理プラント敷地として最終処分場跡地を提供し、リサイクルできない廃棄物の受入、及び選別後の土砂については、覆土材（リサイクル）として受入を行いました。2020年5月の処理完了までの受入量は11万8千tとなりました。

仮置きされた災害廃棄物



中間処理を実施したプラント



受入

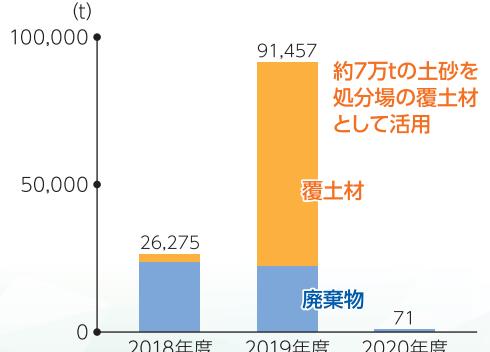


リサイクルできない廃棄物



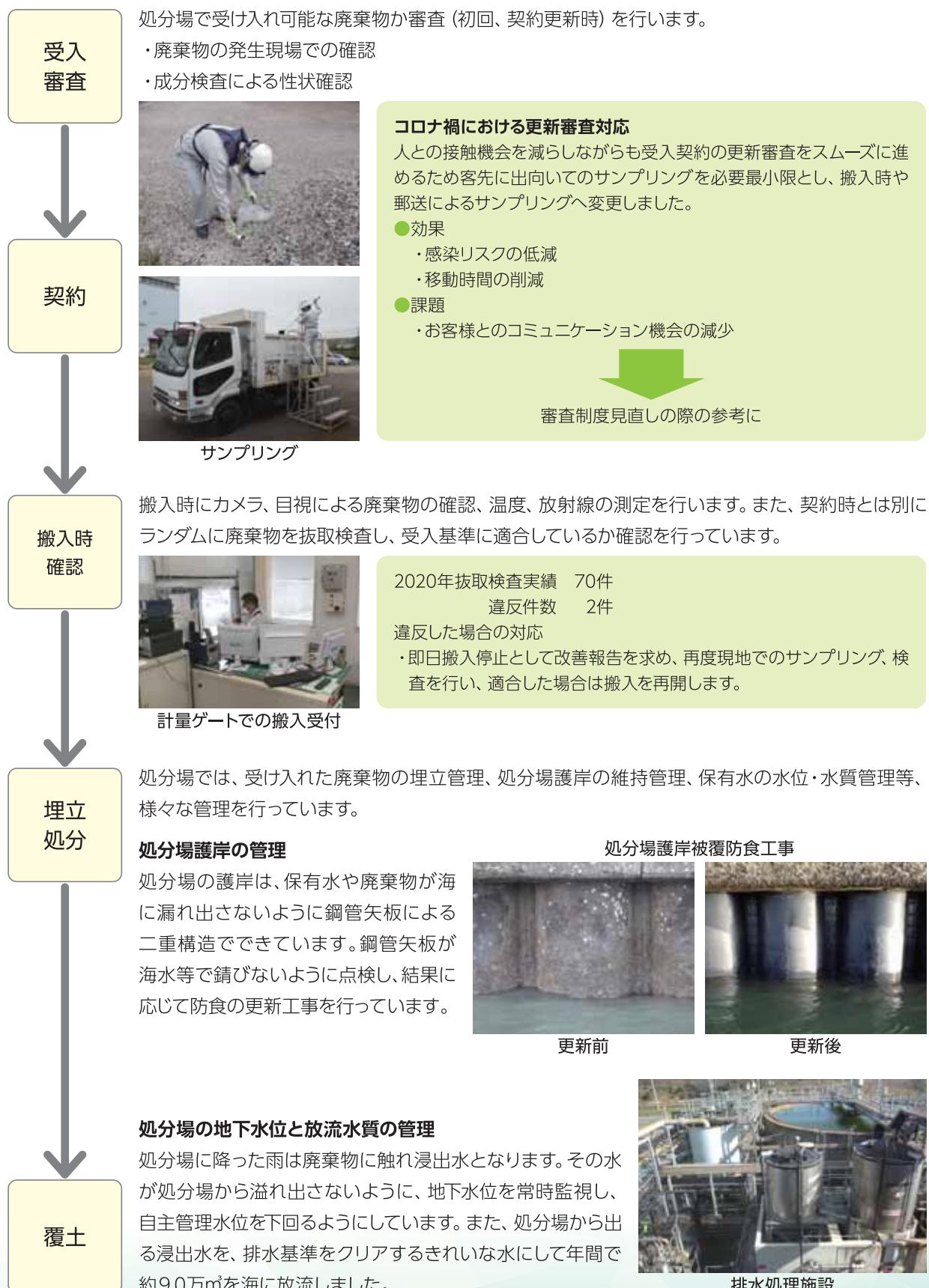
土砂（覆土材）

災害廃棄物及び覆土材の受入実績



## 処理フロー

産業廃棄物の受入から埋立までの厳正なチェックに加え、処分場の適切な維持管理を行うことにより、安全性、信頼性の高い処分場の管理運営を行いました。



# 廃棄物処理処分事業

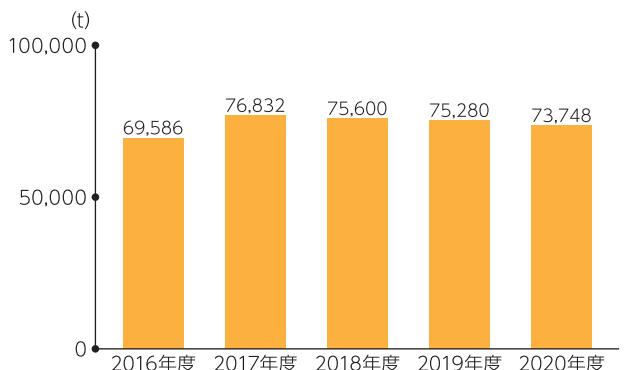


## 水島クリーンセンター

下水汚泥と廃プラスチック類等を混焼し、廃棄物の減量化・安定化を図るとともに、燃焼に伴う熱エネルギーを電気に変換し、約680万kWhの発電を行い、水島処分場全体の使用電力の約7割を賄いました。



焼却処理実績



### 水島クリーンセンターの概要

- ・処理施設の種類：流動床式連続焼却施設
- ・焼却能力(混焼時)：下水汚泥209t/日、廃プラスチック類66t/日(紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず含む)
- ・発電能力：1,200kW

#### クリーンセンターの管理

クリーンセンターを安定稼働させるため、日常点検や運転委託業者との定期的なミーティングにより異常箇所の早期発見に努めました。また、施設の経年劣化が進んでいるため、計画的な設備の更新や修理を行っています。



巡回による日常点検



定期ミーティング

#### 有価物の回収

廃棄物焼却後の燃え殻に含まれる金属くず等を磁選機により選別、回収し、リサイクルを行いました。

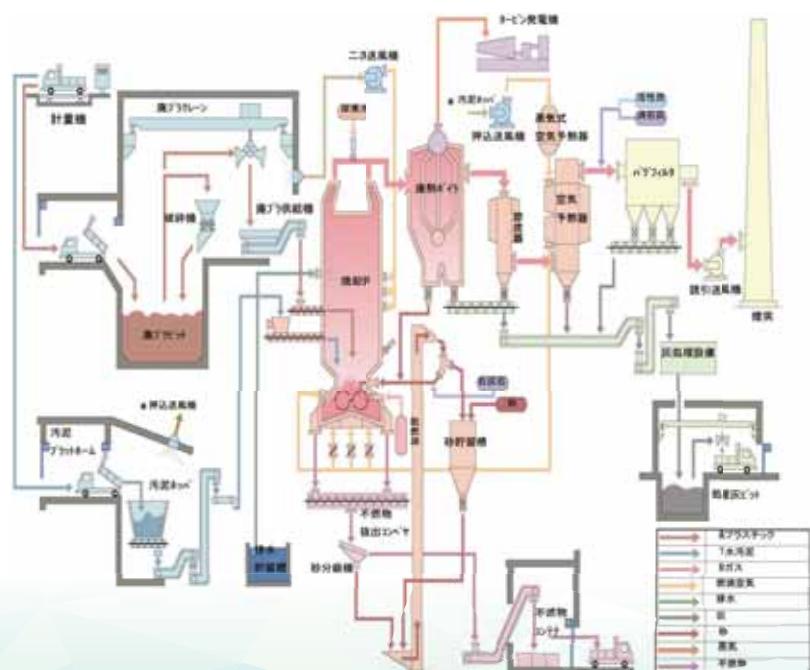


金属くず

2020年度は  
約73t!



#### 処理フロー図



## 新規資源化事業の推進

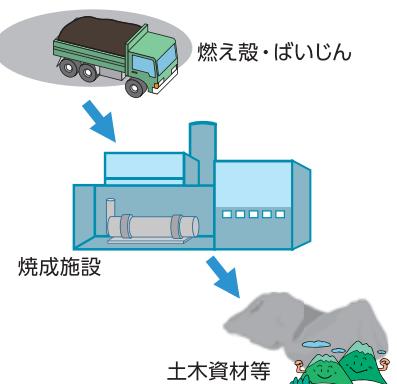
新たな資源化事業の実現に向けて諸手続きや試験等、様々な準備を進めました。この事業では、「燃え殻」「ばいじん」を高温処理(焼成)することにより、有害物質を分解・無害化し、砂状の焼成砂として再生資源を生成します。埋立することなく廃棄物を有効利用するため、最終処分場の延命化にもつながります。

2018年度から焼成小型試験機を導入し、事業化に向けた知見蓄積のため試験を開始

公募型プロポーザルにより資源化施設の建設業者を決定

岡山県条例に基づいた環境アセスメントの手続き実施  
(住民説明会開催準備書の縦覧等)

より安全面、環境面に配慮した施設に向けて  
自主的に「安全環境審査」を開始



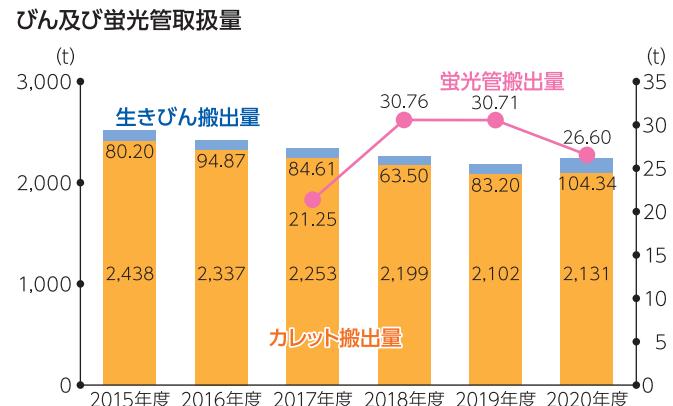
小型焼成試験機



環境アセスメント住民説明会

## 倉敷資源化センター

倉敷市の家庭から出されたびん類をリターナブルびんとカレット(色別)に選別しています。また、蛍光管を再資源化するための選別も行っています。ここでは、NPO法人と協働し、知的障がいの方たちと一緒に仕事をしています。



びんの選別

リターナブルびんはこのまま業者へ引き取ってもらい、再利用され、カレットは色別に分けられ、新しいびんに生まれ変わります。



リターナブルびん

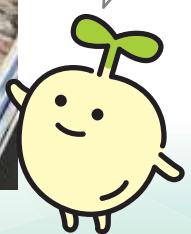


カレット



選別前の蛍光管

ここは、びんが  
生まれ変わる  
出発地点なのね



# 廃棄物処理処分事業



## 岡山県循環資源総合情報支援センター

当センターは県から指定を受け、循環資源に関する情報の発信や、循環資源を提供する事業者と利用する事業者の仲介等により資源(廃棄物)の循環的な利用、廃棄物の削減に取り組んでいます。

2020年度は県から受託した「中小企業3R推進アドバイザ派遣事業」において、3Rアドバイザを事業者へ派遣し、2件の資源(廃棄物)のマッチングを成立させました。

また、近年の海洋プラスチック等の環境問題をうけ、事業者による主体的な廃プラスチック削減にむけた取組を推進することを目的として、新たに県より「おかやまプラスチック3R宣言事業所募集等業務」を受託しました。2020年度は8月に募集を開始し、595件もの事業者に3Rの取組を宣言していただきました。

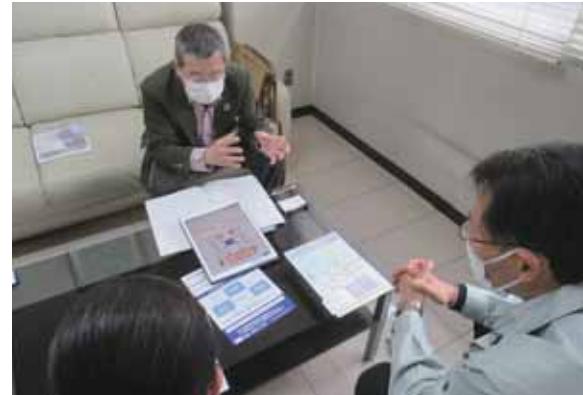
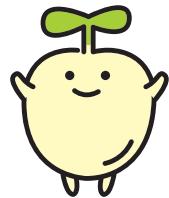
今後も、3Rアドバイザ訪問件数を増加させる等、循環資源マッチング成立件数の増加に取り組んでいきます。

### 資源(廃棄物)マッチングの詳細

種類	詳細	利用量
廃プラスチック類	有料化にともない余ったレジ袋の再利用	約5万枚
木くず	建設廃材をチップへ加工し、燃料として使用	約40t/月



約半年で595件  
も申し込みが  
あったんだね!



3Rアドバイザによる3R取組支援

## 中期経営計画

### <ビジョン>

#### 安全安心な廃棄物処理処分・資源化事業を行っている

- 埋立処分施設の容量が確保されており、埋立処分事業が安定して継続されている
- 下水汚泥処理事業が安定して継続されている
- 県内で処理が期待されている廃棄物等の資源化施設整備が完了し、供用開始されている
- 埋立跡地利用計画に基づき、廃棄物処理施設や緑地の整備が推進されている

## 活動計画

評価 ☺:達成 ☹:改善活動中

2020年度活動テーマ	主な到達点	結果	今後の課題
廃棄物埋立処分事業の継続性確保	処分場変更計画の許認可手続き開始	許認可手続きを開始 ☺	長期的な処分場確保
下水汚泥廃棄物処理事業の継続	修繕計画に基づく修繕工事の実施	計画通り完了 ☺	安定稼働のための基幹改良
資源化事業の推進	資源化施設建設工事発注	発注完了 ☺	環境と安全に配慮した建設工事の実施

2021年度活動テーマ	主な到達点
廃棄物埋立処分事業の継続性確保	第2処分場変更計画の許認可手続き
下水汚泥廃棄物処理事業の継続	基幹改良工事の準備
資源化施設の供用開始	建設工事着工に向けた許認可手続き完了 建設工事の着工

# 分析測定・環境調査事業



## 分析技術の向上

職員の力量向上のため、資格取得推進に取り組んだ結果、計5名が新たな資格を取得しました。

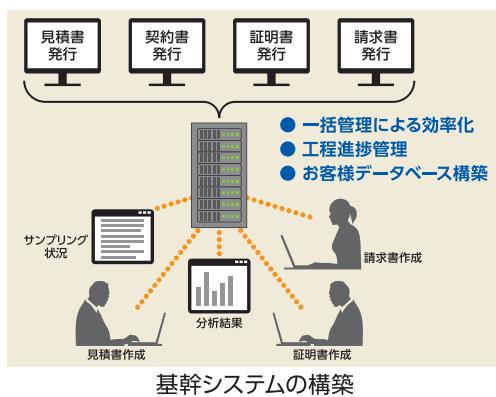
2020年度は、建築物等の解体等工事における石綿(アスベスト)の排出等の抑制を図ることを目的とした「大気汚染防止法の一部を改正する法律」が2021年4月1日から施行されることから『建築物石綿含有建材調査者』の育成に取り組みました。また、計量証明ミスゼロに向けて、毎日朝礼で「『入力』、『計算』、『操作』のミスをなくします」という内容の唱和を行うとともに、分析業務の責任者である計量管理者による勉強会を開催し、これまで発生したミスの再発防止と職員の技術力向上に努めました。

今後も引き続き、資格取得や担当する分析項目のローテーションを通じて、職員の力量向上に努めます。

### 主な資格取得者数一覧

	2019年度以前の取得者	2020年度新規の取得者	累計
環境計量士	15	1	16
臭気判定士	2	1	3
土壤汚染調査技術管理者	4	0	4
環境測定分析士	9	2	11
建築物石綿含有建材調査者	3	1	4

## 基幹システムの構築



これまで環境調査部では、「見積書」、「契約書」、「計量証明書」、「請求書」を別々のシステムで作成、発行しており、入力ミスの防止や処理の効率化が課題となっていました。

そのため、2020年度は見積書作成から計量証明書発行までが一括管理で行え、サンプリング現場の情報を即時に入力でき、分析状況等の進捗状況を見える化した「基幹システム」を新たに構築しました。これにより約10%の効率化を目指しており、現在効果を検証中です。

今後は、蓄積した分析データを活用した顧客サービスの向上等に取り組んでいきます。

## 安全の取り組み

### 熱中症対策

2019年度に大切な仲間を野外作業中の不慮の事故により失ったことを受け、作業中の事故防止のため、各種取組を行いました。特に夏場の熱中症防止策として、事前の体調チェックを行うとともに、冷却ベストや空調服を導入しました。さらに、万が一、熱中症の症状が出た場合に備え、経口補水液を必ず携帯しました。



冷却ベスト



空調服

### 安全会議による意識向上

屋外における調査やサンプリング作業では、道のない山中や河川等での作業を行うため、クマ、スズメバチ等の危険生物や急激な天候変化等に遭遇することが少なくありません。このような「ヒヤリハット」した体験を共有し、いざという場合でも的確に対応できるよう毎月1回程度、実際に起こりうる場面を想定し、「どのように対応するか」のアイデアを出し合う会議を開催しました。

決定した対応策は参加者で指差呼称を繰り返し行い、



「手の自由、ヨシ!」「階段確認、ヨシ!」



不用意に近づかず、犬が立ち去るのを待ちます!「野犬、ヨシ!」

# 分析測定・環境調査事業



安全意識を高めるとともに、事業団全体の労働災害未然防止のために全職員に会議の結果を共有しました。今後も実際の作業を想定し、危機を感じる能力の向上に取り組んでいきたいと考えています。



藻やコケの無い、くぼんだ場所に足を置きます。「足の置き場、ヨシ!」



通路を確保し、置場のエリアを標示しました



不要なものを廃棄し、きれいに収納しました

## 5S

安全で働きやすく、効率のよい職場を目指して月に1回、5S活動に取り組みました。ロッカ一内の備品を見つけやすくするために定置管理を行ったり、安全な通路を確保するための床面標示を行ったりしました。

引き続き、計量証明機関として安全で清潔な作業環境を維持していくことはもちろんのこと、今後、予定している分析室の改修と合わせ、動線の見直しによる移動時間の短縮、定置管理による「モノ探し」時間の短縮等、作業効率向上に向け、さらに高いレベルの5Sを目指していきます。

## 新技術の導入検討

環境調査へのドローン活用検討として、MASC共同開発<sup>※</sup>にご協力いただき、水質調査における安全及び効率的な採水作業について共同実験を行いました。<sup>※</sup>岡山県倉敷市水島地域への航空宇宙産業クラスタの実現に向けた研究会

岡山県自然保護センター内のため池でテストを行った結果、採水器具の改良により、岸から離れた池の中心部において、水面だけでなくある程度の水深までのサンプリングが可能であることが確認できました。このことから、ボートの運搬が困難な山間部溜池や中小規模ダムにおいて、ドローンの携帯性及び機動性を生かした水質調査での可能性が期待できることが分かりました。環境調査では道なき道を進むことが多いことから、今後はドローンの得意分野である撮影機能を生かした安全管理や、さらには植物等の生物調査について、ドローンを購入して実用化に向けた検討を行う予定です。



ドローンによる採水実験

## 中期経営計画

### <ビジョン>

#### 信頼の調査分析事業を行っている

- ・企業や自治体から環境対策のパートナーとして認められている
- ・業務の精度向上を図るとともに、生産性を意識した効率的な事業運営が行われている

## 活動計画

評価 ☺:達成 ☹:改善活動中

2020年度活動テーマ	主な到達点	結果	今後の課題
分析技術の力量向上	標準作業手順書の作成	手順書作成14項目	さらなる精度管理推進と作業の効率化
基幹システムの構築	基幹システムの構築と試験運用の実施	構築と試験実施	本運用と効果検証
環境コンサルタントの体制構築	業務体制案(土対法)の作成	業務体制案作成	需要拡大時の準備
営業力強化のための組織・機能の検討	顧客ニーズ調査と営業体制の計画・策定	策定完了	実践とツールの開発

2021年度活動テーマ	主な到達点
分析業務の生産性を高める取組	自動分析装置導入検討
パートナーシップの推進	ツール開発 顧客訪問着手
生物調査機関としての技術及び信頼性向上	データベース構築

# エコアクション21中核地域事務局業務



## エコアクション21認証登録の普及促進

エコアクション21地域事務局では、新規認証・登録に向けた事業者の支援や、制度の普及・促進活動、また制度に関するご相談やお問い合わせの対応等を行っています。

### 普及戦略会議の開催

2020年度より、エコアクション21認証・登録制度の普及・推進について、幅広い観点からの助言を得るため、普及戦略会議を設置しました。この会議は、自治体や中小企業支援団体、学識経験者等有識者で構成し、認証・登録事業者の増加を目的として、メリット創出や営業、広報活動の改善について意見交換しました。



普及戦略会議



エコアクション21セミナー（オンライン）

### オンラインによるセミナーの開催

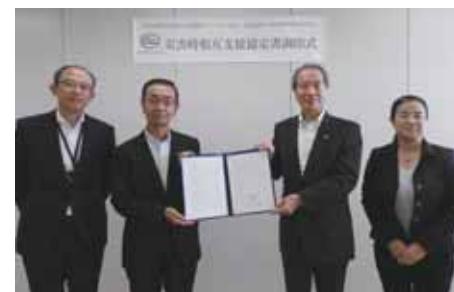
新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、オンラインを活用した研修会、セミナーを開催しました。オンラインの開催により、新たな顧客層を開拓することができ、定員を上回る多くの方にご参加いただくことができました。また、オンラインセミナー開催にあたってのノウハウを蓄積することができました。

セミナーのテーマには、新型コロナウイルスや自然災害等の事業継続の危機に対するエコアクション21の活用方法等取り上げ、BCPに関心の高い事業者の新規獲得に努めました。

他にも、より一層の事業者の皆様のお役に立つ審査を目指して、コーチングやコミュニケーションをテーマとした審査員の力量向上研修会をオンラインで実施しました。

### 相互支援協定

地震などの緊急事態発生時に、エコアクション21認証登録業務が継続できるよう協力し合う、相互支援協定を「地域事務局大阪（特定非営利活動法人大阪環境カウンセラー協会）」と締結しました。



相互支援協定書調印式

## 中期経営計画

### <ビジョン>

- ・エコアクション21の認証登録を支援し、企業の温室効果ガス削減に貢献している

### 活動計画

評価 :達成 :改善活動中

2020年度活動テーマ	主な到達点	結果	今後の課題
エコアクション21 認証登録の普及促進	認証・登録事業者 277件	254件	取下げ防止に向けた取組
2021年度活動テーマ	主な到達点		
エコアクション21認証登録の普及促進	認証・登録事業者259件		

# 環境学習事業



## 環境学習センター「アスエコ」

環境学習センター「アスエコ」は、環境の大切さを知るために、子供から大人まで楽しく学べる環境学習施設です。

アスエコでは、地球や地域の環境について、見て、感じて、気づいて行動に移してもらうためのきっかけとなることを目指し、施設見学や環境学習体験、環境学習のコーディネートや体験型の各種イベントの実施、環境情報の発信・展示、関連図書・器材の貸出し等を行いました。



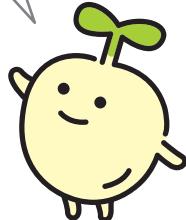
施設見学



企画展示



イベントの開催



## 環境学習出前講座

県やNPO等環境団体との協働により、小中学校や地域団体等へ環境学習出前講座を実施しており、2020年度はコロナ禍でありながらも336件実施することができました。

学校教育では、新指導要領にSDGsに関連した「持続可能な社会の創り手の育成」が明記され、新たにSDGsを学ぶプログラムが必要とされています。アスエコでは、金沢工業大学が開発し、SDGsの実践的な学びの教材として幅広く使用されているカードゲーム「X」を参考に、岡山版のSDGsカードゲームを開発しました。岡山版SDGsカードゲームは岡山の課題をもとに作成し、地域におけるSDGsの啓発と環境学習の取組を合わせて進められる教材として広く県内での活用が広がりつつあります。現在は、このSDGsカードゲームを用いた出前講座を実施できる講師の養成も積極的に行い、SDGsの目標達成に貢献していくことを目指しています。



SDGsカードゲームの実施



みんなでSDGsを学ぶのじゃ

# アスエコ未来教室

2020年10月より中学生を対象とした新たな学びと気づき成長の機会として、自分らしく社会を生きる力を高めてほしいと願いを込めた「アスエコ未来教室」を開講しました。未来教室はSDGsをテーマとした半年間の講座を受講することで、自身と社会の未来を拓く人材育成を目指すものです。

また、未来教室では様々な職業のプロフェッショナル人材と出会う機会の創出と、自身の将来を考える機会の提供を行っており、未来教室で学んだこと、考えたことを言葉として残し、将来の進路、進学にも役立てるとともに、社会に発信する機会を提供しました。

今後は、未来教室のような場が各地域等の参考となり、同じような機会が広がっていくことを願っています。そのために、モデルとなれるよう回を重ねながら発信もしていきたいと考えています。

## 参加した中学生の声

感想や考えたこと、そして自身のこと等についてスケッチブックを使って共有しました。スタッフの方々が個々の気持ちや考えを深めてくれるので、ただの感想にならず未来につながる時間になりました。



アスエコ未来教室の開催

## Concept

中学生を対象とした

新たな学びと気づき成長の機会



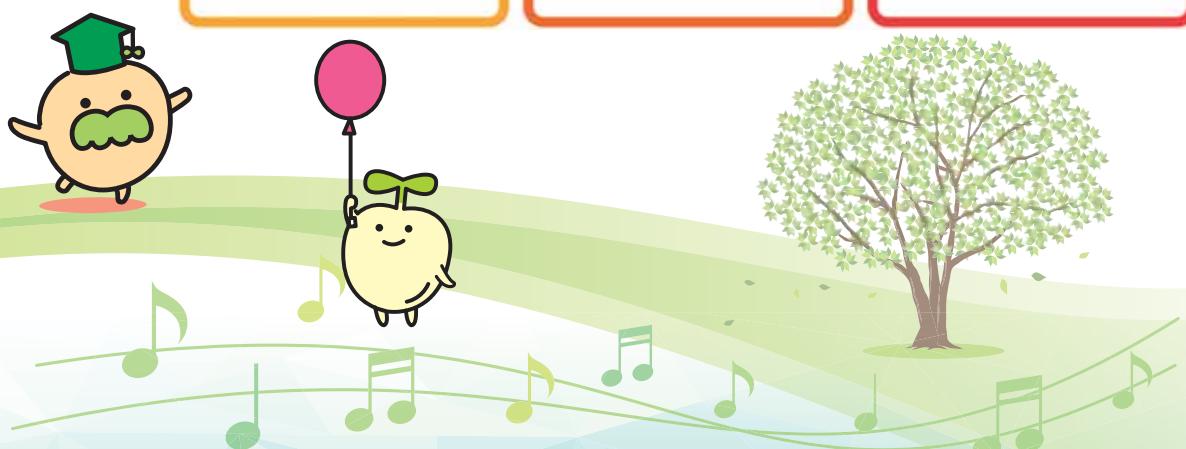
様々な職業や人、  
そしてその人たちが起こす  
“コト”に出会う機会



出会いを「力」と「可能性」  
に  
変えるサポート



それらを支えるアスエコ  
ならではの体制



# 環境学習事業



## 岡山県地球温暖化防止活動推進センター

「岡山県地球温暖化防止活動推進センター」として、地球温暖化防止活動、低炭素社会の推進やエコライフの普及など、地球温暖化防止活動推進員と協働して、環境情報を発信しました。2020年度は新型コロナウイルス感染症のためイベントの中止が相次いだことから、イベントをオンラインで提供できるよう動画を作成し、公表しました。自然環境の動画を閲覧することで自然により詳しくなり、素晴らしい自然を大切にしてほしいという願いを込めて作成しました。また、アースキーパーの会員数が近年伸び悩んでいましたが、2019年度より新イベントの企画や動画作成等積極的な取組により大きく増加しました。今後も会員数増加に向け、様々な取組を実施していきます。

できるところから始めよう！地球にやさしい生活  
**アースキーパーメンバーシップ【岡山県】**  
**未来の地球のためにいますぐ始められるコト。**

----- アースキーパー共通取組目標 おうちでできる4つのこと -----

01 差しつばなしさは止めよう 02 徒歩や自転車を使おう 03 マイバッグを持ち歩こう 04 分別を徹底しよう

特典1 エコな取組を投稿＆共有できる！ 特典2 便利エコツールがつかえる！ 特典3 エコ活動でポイントがたまる！

アースキーパー会員数  
(人)

年度	会員数(人)
2016年度	11,918
2017年度	12,136
2018年度	12,396
2019年度	13,537
2020年度	14,167

環境学習センター アスエコ  
Youtube

ぼくも動画をみてみる！

## 中期経営計画

### <ビジョン>

#### 見て、感じて、気づき、行動を促す普及啓発・環境学習事業を行っている

- ・学校を中心として社会の要請に応える効果の高い環境学習を実施している
- ・行政と各種団体、県民をつなげる中間支援を通じて、協働の取り組みを効率的かつ効果的に推進している
- ・各部との連携のもと外部へ積極的に情報を発信し、当事業団の認知度向上につながっている

## 活動計画

評価 ☺:達成 ☹:改善活動中

2020年度活動テーマ	主な到達点	結果	今後の課題
環境学習出前講座の充実	環境学習出前講座300件	336件	☺ SDGsの取組の進展を踏まえた事業展開
環境学習センター「アスエコ」の業務改善	業務改善会議の開催12回以上	12回	☺ より効率的な運営
2021年度活動テーマ		主な到達点	
環境学習出前講座の充実とSDGs事業の展開		環境学習出前講座300件、SDGs啓発活動40件	
脱炭素社会への更なる推進		アースキーパーメンバーシップ会員14,500人	

## 津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザ

津山市内に整備された津山圏域クリーンセンター(ごみ焼却・リサイクル処理施設)管理棟内に、環境学習の拠点として設けられた津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザにて、資源の有効活用やごみの減量化、リサイクルの推進に関する普及啓発や施設見学・各種環境学習の推進等学びの機会を提供するため様々な活動を行っています。

2020年度は小学校や町内会等の団体に対して、施設見学・環境学習を26件実施しました。また、環境に関する情報提供や啓発として、リサイクルプラザ内にて企画展示を8回開催しました。



環境学習・施設見学



企画展示

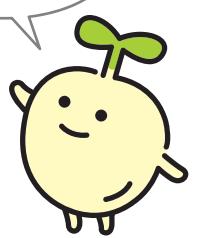
津山地域内の各家庭で使用しなくなった物を職員が清掃・点検し、再生品として提供・販売しているリユースコーナーの運営をしており、2020年度は15,268点のリユース品を提供・販売しました。



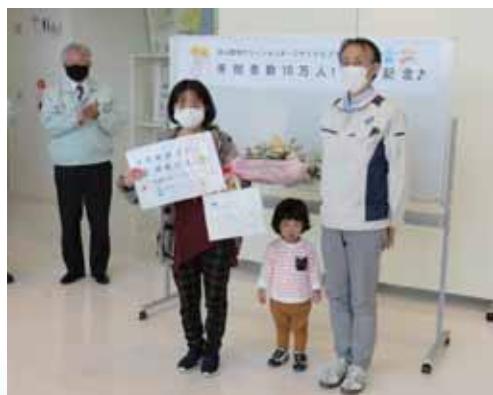
リユースコーナー



清掃・点検



2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、施設の休館や体験イベントの中止等があつたことから来館者数は減少しましたが、2万人を超える方に施設を利用していただくことができました。また、2020年12月11日には、開所からの累積来館者数10万人を達成することができました。10万人目の方には、記念品として花束と地元の「NPO法人木にかえる」が作製している檜のマグカップを贈りました。これからも、皆様が安心して利用でき、環境についての学びがより深まるよう魅力ある施設づくりを行っていきます。



累積来館者10万人達成



# 生物調査・環境緑化事業



## 岡山県自然保護センター

岡山県自然保護センターは、自然との触れ合いを通じて、自然への理解・保護についての認識を高めるため、1991年に和気町（旧佐伯町）にオープンしました。この施設の管理運営を通じ、失われつつある里山環境や、約2,500種もの身近な動植物の持続的な保全を行っています。

そして、この豊かな自然あふれる野外フィールドを題材とし、様々な自然観察や自然体験活動、自然保護に関する指導者の育成研修、情報収集・提供、調査研究、関連施設との連携等を積極的に行っています。



岡山県自然保護センター



秋のセンター内を散策

### 多彩なイベントの開催

自然に対する理解を深めるための観察会や企画展示を行っています。2020年度も多くの企画展を実施しましたが、特に人気アニメの要素をちりばめた「大正里山鬼退治」が人気でした。

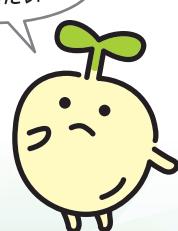
本企画は、大正の里山の暮らしについて、遊びを通じて体験するもので、多くの利用者に遊んでいただきました。また、自然保護センターでは、市内からの町明かりが少なく、星空を見るのに適しており、星空観察会を毎年開催しています。そこで、2020年度は、小学生の頃に岡山で過ごされていたご縁から大西宇宙飛行士の講演会を行い、150人に参加していただきました。



修行する職員



来場者による体験



## フィールドの管理

良好な生態系が維持できるようにフィールド毎に適切な管理を行っています。2020年度は野草園の一角に浅い水域に適した動植物の生息場として、泥あげや除草等に取り組み、水田ビオトープを造成し、センターで保護してきた希少種であるミズアオイの育成場となりました。さらに、環境学習の大人数での利用が可能となりました。



ミズアオイ



水田ビオトープにおける環境学習

## コロナ禍であっても自然と触れ合ってもらうために

新型コロナウイルス感染症により、従来実施していた利用者へのガイドが実施できなくなりました。このため、職員との直接的な触れ合いはなくても自身でフィールド調査ができるよう「みつけロードマップ」を作成しました。季節によって見える動植物は変化することから、2週間に一度更新しました。

他にも、外出自粛中に自宅で自然を楽しんでもらうためにSNSによる情報発信も始めました。Youtubeは1週間に一度は更新を行い、外出ができるようになったら自然保護センターへ訪問してほしいという願いを込めています。



## 中期経営計画

### ＜ビジョン＞

### 見て、感じて、気づき、行動を促す普及啓発・環境学習事業を行っている

- ・自然体験、自然学習、自然保護の拠点施設として、多くの県民に利用されている

## 活動計画

評価 ☺: 達成 ☹: 改善活動中

2020年度活動テーマ	主な到達点	結果	今後の課題
利用者数増員対策の実施	春休み期間における利用者数2,500人	2,493人	☹ 中学生及び高校生における利用者層の幅の拡大
フィールド整備の充実	マニュアルの課題の確認	達成	☺ フィールドの徹底した整備
多様な組織等との連携	外部労力導入率70%	90%	☺ 役割分担の明確化
2021年度活動テーマ		主な到達点	
効果的な事業運営による利用者の増加		年間利用者35,000人	
フィールド整備の充実		協力団体との役割分担の文書化	

# 私たちの働く環境



## 採用活動

多様な人材を採用することで事業団全体の組織力アップを目指しており、3名の中途採用も行いました。

採用活動をするうえで、実際に働き始めてからのギャップを少なくするために、当事業団で働く職員のありのままの姿を伝えるよう説明会では若手職員から働いていて楽しいこと、大変なこと、仕事仲間と一緒に使う部活動等について説明を行いました。また、内定者とは月に1回WEB面談を行い、入団までの疑問や不安を解消するためのフォローを行いました。



内定者との定期的な面談

## 人材育成制度

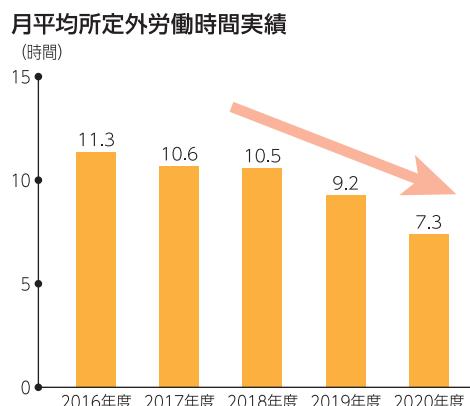
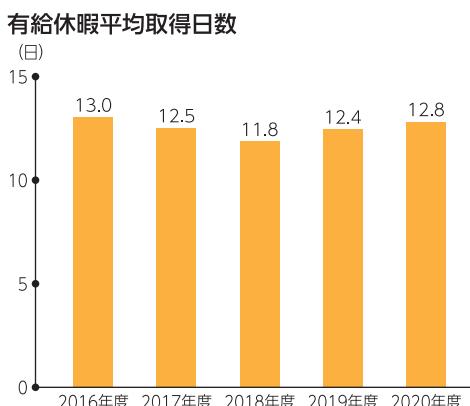
研修制度は、内部研修（入団3年目・6年目研修、財務研修、人事評価者研修等）と昇任時等外部研修（7つの習慣、マネジメント研修等）で構成されています。人事評価者研修では、管理職が評価するポイントや手順等を事例研究を交えながら学びました。この他に、資格取得のための補助制度（受験料や旅費等を事業団負担）や、事業団が推奨する資格を取得した際の褒賞金制度もあります。



人事評価者研修

## 時間外労働と有給休暇

職員が健康に働くことができるよう、有給休暇の取得促進や時間外労働の削減も図っています。



## ワークライフバランス

当事業団では、職員のワークライフバランスを充実させるための休暇制度があります。

### 子育て

- 出産休暇
- 出産補助休暇
- 子育て休暇

### 健康

- 健康管理休暇
- 人間ドック休暇
- 病気休暇

### ライフイベント

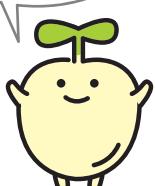
- 婚姻休暇
- 忌引き
- ボランティア休暇

### その他

- 夏季休暇
- 介護休暇
- 永年勤続休暇

これまで延べ25人が育児休業を取得して復職率100%！

男性職員2名が育児休業を取得したんじゃ！



この他にも、様々な休暇制度があり、多くの職員が活用しています。

また、休暇制度だけでなく働きやすい職場環境づくりのための制度も充実しており、子育て支援では、出産後職場復帰した後の仕事と育児の両立を図れるように時間外労働の免除や制限、育児短時間勤務等があります。

また、近年は、女性だけでなく男性も育児休業、子育て休暇を積極的に活用しています。

# 生産性向上への取組

総務企画部内では、2019年から「働き方改革」に取り組んでおり、時間外労働や会議時間を削減して、一人ひとりのワークライフバランスを充実させることを目指しています。

こんなことに取り組んでいます！

## ①チームごとに業務の見直しや効率化を実施

部内を3チームに分け、チームごとに定型業務10%削減を目標に掲げ、「ムダ・ムラ・ムリ」を減らし、「活きる時間」を生み出すことを念頭に「減らしたい時間」と「増やしたい時間」を決めて業務の見直しや効率化策を実施しました。

## ②ワークライフバランス勉強会を開催

中心となる職員がワークライフバランスコンサルタント資格を取得。「働き方改革」「ワークライフバランス」について勉強会を開催しました。

## ③各チームの取組共有会で内容共有&改善提案

4半期ごとに各チームの取組内容を発表する「取組共有会」を実施し、各チームの取組内容を共有するとともに取組内容に対する提案を行いました。



共有会は、密をさけるため、WEB会議システムを使い、発表チーム以外は自分の席で参加

各チーム成果がでています！

### 労務チーム

**目標** いつでも前向き!  
ポジティブチーム!

- 取組▶採用、退職にかかる手続きを抜け漏れなく誰でもフォローできるようチェックリストを作成
- ▶WEB会議の活用(組織内会議、採用活動)
- ▶外部の司法書士、社労士と連携し、組織内作業を簡略化

定型業務 **10%削減達成!**  
(250時間削減)

### 経理チーム

**目標** 仕事に前向き・効率的に取り組む!  
困ったときはチームみんなで問題解決!

- 取組▶各人の業務を見える化するためのスキルマップを作成し、仕事の属人化を解消
- ▶誰でも業務ができるようにマニュアルを作成(9個→21個)
- ▶最も時間がかかっている定型業務を特定し、解決策実施
- ▶集中タイムを設け作業に集中!その間、電話や窓口対応は他のメンバーがサポート

定型業務 **10%削減達成!**  
(81時間削減)

### EA21チーム

**目標** スケジュール管理能力を高めて、オンオフで充実した時間を作る。  
自信を感じる仕事を見つけて、イキイキと働く。

- 取組▶週1回「テコ入れ会議」で定型業務のムダ・ムラ・ムリをみんなで点検し、削減策を検討・実施

定型業務 **11%削減達成!**  
(223時間削減)

## 中期経営計画

### <ビジョン>

- ・中長期視点で必要なキャッシュを確保できている
- ・生産性向上、情報セキュリティ管理、事業継続計画の推進により経営リスク削減に貢献している
- ・エコアクション21の活動が定着している
- ・働きやすい職場づくりのための継続的な取組がなされている

## 活動計画

評価 ☺:達成 ☹:改善活動中

2020年度活動テーマ	主な到達点	結果	今後の課題
人材の確保及び職員の力量強化	人材育成体系の運用と見直し	計画通り完了	☺ コロナ禍における効果性の高い研修方法の実施
労働生産性など各種指標を活用した生産性の向上	総務企画部内で「働き方改革」に取り組み、時間外労働が2018年度比で10%削減、会議時間10%削減	時間外労働10%削減 会議時間4%削減	☹ 生産性向上取組の認識の共有

### 2021年度活動テーマ

### 主な到達点

職員の力量強化と働きやすい職場づくり	くるみん行動計画の届出完了 健康経営優良法人の認定申請
生産性向上、情報セキュリティ管理、事業継続計画の推進による経営リスク削減	総務企画部内定型業務 2020年度比10%削減

# 地域貢献活動

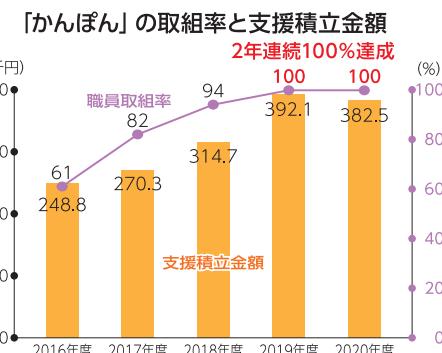


## エコポイント制度「かんぽん」の取組

### 独自エコポイント制度「かんぽん」の運営

2009年の10月より、職員が取り組んだ環境活動の環境改善効果や取組難易度に応じてポイントを付与する仕組みを運用しています。取組を推進するための組織横断的な運営委員会を作り、その運営委員会を中心に、参加率を上げるための様々な啓発や仕組みの更新を行っています。

2019年度に職員取組率100%を達成したことから、2020年度は「生ごみはコンポストを活用する」等取組内容のレベルアップを図りました。今後は、職員がより高レベルな環境活動に取り組む頻度の向上を目指していきます。



### 小・中学校への支援活動

2015年度からは、申請により付与したポイントを事業団が積み立てし、地元地域の小中学校等に、学習活動に必要な備品類の寄贈を実施しました。職員が環境活動を積極的に行なうことが、地域の子ども達の学習環境の改善に結びつくようにしています。また、この取組の貢献度を高めるために、小中学校などのニーズを直接聞いて、必要性の高い物品を支援するようにしています。



学校への寄贈

#### 支援物品と学校一覧

津山市立	誠道小学校	ホワイトボード他
	中正小学校	デジタルカメラ
	院庄小学校	一輪車練習用スタンド他
	向陽小学校	自動図書他
	秀実小学校	CDラジオ
	喬松小学校	ホワイトボード他
	久米中学校	ポータブルクーラー

### 政府支給の布マスクを岡山南支援学校へ寄贈

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から政府が支給した布マスクを集め、岡山南支援学校へ寄贈しました。事業団内で呼びかけ、120枚ものマスクが集まりました。岡山南支援学校の担当者からは、「政府支給の布マスクを使用している児童もおりますので、大変助かります。ありがとうございました。」とお喜びいただきました。



布マスクの寄贈

## 児島湖畔環境保全アダプト清掃

アダプトとは、「養子縁組を結ぶ」という意味です。この事業は、参加団体が児島湖流域の「里親」となり、ボランティアとして県民共有財産である児島湖畔を自らの「養子」とみなして清掃美化活動を行うもので、岡山市南区の妹尾川河口周辺のボランティア清掃に取り組みました。また、同じ日に内尾事務所周辺の清掃も行いました。



川に近いところまでごみを拾います



軽トラの荷台がごみでいっぱいになりました

## 水島処分場での環境学習、植樹活動

2020年度は、倉敷市立連島東小学校4年生のみなさん56名を招いて、環境学習と植樹活動を実施しました。

環境学習では、「埋立処分場」、「倉敷資源化センター」の各施設を見学しました。小学校の社会科では『私たちの毎日の生活から出るごみを減らすための環境行動としての3Rや5R』について学んでおり、実際に施設やりサイクルの様子を見学・体験してもらうことで、資源の大切さを学んでいただきました。

埋立跡地への植樹では、職員が木の植え方を説明し、1人1本植樹を行いました。木を植えるのは、難しかったようですが、職員にアドバイスをしてもらしながら一生懸命植えてくれました。今回、植樹してもらった木は「シャリンバイ」とい、暑さや潮風にも強いのが特徴です。木が成長した姿をまた、見に来てくださいね!



資源化センターでびんについて話を聞いています



たくさんのお手紙  
サンキューじゃ!



みんなが植えてくれた木は、すくすく成長しているよ

## セミナーの開催

地域貢献活動として企業のための「環境基礎講座（セミナー）」、「おかやま環境フォーラム」等を開催しました。「環境基礎講座（セミナー）」では、前年度のセミナー開催時のアンケート結果より、企業の法的なリスク管理に関心が高まっていることを踏まえ、岡山県における排水規制やリスク管理のポイント、中小企業でも導入しやすい技術等の内容で実施しました。「おかやま環境フォーラム」では、「オオムギの多様性を活用した低炭素社会の実現」と題し、地球環境の変動に対応し、将来の低炭素社会実現するためにオオムギの多様性を活用して何ができるのか、について参加者の方と一緒に考えました。

今後も地域における環境保全や地球温暖化防止に向け、最新の情報、将来の課題等を広く県民の方に分かりやすくお伝えしていきます。



おかやま環境フォーラム2021



# 安全衛生活動



## 新型コロナウイルス感染症対策

2020年、誰も予想していなかった「新型コロナウイルス感染症」が流行し、当事業団でも事業を確実に継続していくために様々な対策に取り組みました。

各事務所では、入り口に「マスク着用・消毒」を呼び掛ける掲示の他、消毒液、検温器を設置しました。また、事務室は、各机をパーティションで仕切り、飛沫予防を行いました。職員数の多い内尾事務所では、換気設備を更新し、10分間で事務室の空気を入れ替えることができるようになるとともに、自動水栓への交換を行いました。



内尾事務所正面入り口



食堂のカウンターは使用禁止に



自動水栓に交換

皆様に開放している事務所では、入場制限、館内順路の一方通行を呼び掛けるとともに、イベントの際には、感染予防対策を徹底して行いました。



入館証を受け取って入ります



館内は一方通行に



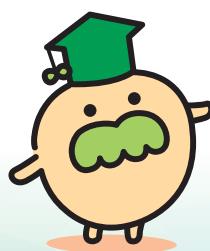
## 5S活動

各職場において快適な職場環境の実現のために5S活動にも積極的に取り組んでいます。写真は、内尾事務所3階倉庫の片づけの様子です。「おかたづけ祭り」と称して総務企画部全員で取り組みました。また、書類の整理も行い、書類ロッカー4本の削減も行いました。今後は更に電子化等により、ペーパレスを進めていく予定です。



Before

After



5S活動は、快適な職場環境だけでなく、安全な職場、生産性向上にもつながるんじゃよ

# 安全パトロール

事業団では、「労働災害発生ゼロ」実現のため、また、安全な職場づくりを目指して様々な活動を行っており、その中で、安全パトロールは、各職場で毎月実施しました。職員以外によるパトロールとして、外部コンサルタントに来ていただく安全パトロール(各職場年1回)、衛生管理者による安全パトロール(内尾事務所 週1回)も実施しました。

## 外部コンサルタントによる安全パトロール



排水処理施設



水島処分場



津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザ



アスエコ



## 衛生管理者による安全パトロール

衛生管理者のパトロールでは、場内運転状況を主な確認ポイントとして実施しています。内尾事務所出勤者の大半は、車通勤です。場内の制限速度は時速15キロですが、スピードを超過する職員もしばしば見受けられました。

パトロール時に時速15キロの表示を持ち、出勤、退勤する職員へ呼びかけを行いました。この取組により現在、場内速度は、守られています。



制限速度守ってください!

## 提案制度

職員の創意工夫を奨励し、業務上有益な提案を積極的に実施することにより、職員の改善意識を高め、組織の発展と組織力の向上を目指すことを目的に提案制度を設けています。特に優秀な提案については、理事長賞として年2回表彰を行っています。

### 理事長賞受賞取組の紹介

#### 「埋立処分場の現場監視における車両誘導方法の効率化」

##### 問題

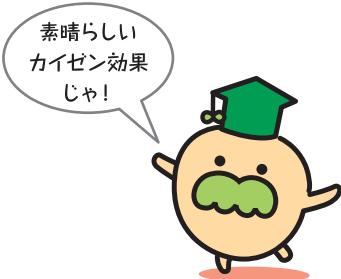
処分場に搬入される廃棄物は、種類により投棄場所が決まっているため、現場監視員が車両誘導を行っており、搬入台数が多い時間帯に待機車両が多くなっていました

##### 提案内容

- 投棄場所に色旗を立て、運転手から投棄場所がわかるようにし、誘導指示を効率化
- 色旗は現場監視員が移動可能なものにし、急な変更にも迅速に対応

##### 改善効果

誘導業務のスピードアップ、待機車両の減少



## 環境経営システムの活用

2017年度より、エコアクション21の認証・登録をうけ、全事業所、全活動のもと環境経営システムとしてエコアクション21を活用しています。当事業団では内部コミュニケーション及び業務改善の観点から内部監査を実施しています。内部監査員の講習会では、これまで内部監査を実施した回数・経験によりレベルの異なる3区分に分かれ、講習会を受講し、修了した職員は内部監査を実施することができます。講習会後は内部監査を実施し、その後内部監査報告会にて各内部監査員より理事長、専務、常務へ報告します。

内部監査員の資格を有する職員は全体の7割程度であることから、今後も引き続き講習会を実施し、内部監査員の資格を有する職員の拡大を図ります。また、本内部監査は職員同士のコミュニケーションの場ともなっているため、このような機会を活用し、今後も業務改善や互いの業務理解を深める等内部コミュニケーションを進めていきます。



内部監査講習会



内部監査報告会

# 環境経営目標と実績

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
		実績	実績	実績	実績	実績
二酸化炭素排出量 ※1	t-CO <sub>2</sub>	32,251	34,040	42,227	39,811	37,678
省エネルギー(内尾事務所) ※2 ※3	kl/千m <sup>3</sup>	49.73	47.08	44.35	33.75	32.73
省エネルギー(水島管理事務所) ※4 ※5	kl/千t	17.50	17.15	17.17	18.32	17.66
省エネルギー(アスエコ) ※3	kl/千m <sup>3</sup>	—	18.89	16.44	18.01	17.70
省エネルギー(資源化)	kl	—	—	—	12.50	11.50
省エネルギー(自然保護)	kl	—	—	—	—	17.04
廃棄物排出量	kg	189,8	2,099	1,868	2,219	1,496
水使用量	m <sup>3</sup>	27,873	35,872	28,624	27,231	19,253
化学物質の適正管理	—	使用管理				

	単位	2020	2020	2021	2022	2023
		目標	実績	目標	目標	目標
二酸化炭素排出量 ※1	t-CO <sub>2</sub>	37,301	34,369	34,025	33,682	33,338
省エネルギー(内尾事務所) ※2 ※3	kl/千m <sup>3</sup>	33.08	31.44	—	—	—
省エネルギー(内尾事務所) ※2	kl	—	—	103.34	102.28	101.21
省エネルギー(水島管理事務所) ※4	kl/千t	19.91 ※5	22.62 ※5	18.66 ※6	18.47 ※6	18.29 ※6
省エネルギー(アスエコ) ※3	kl/千m <sup>3</sup>	19.84	17.24	—	—	—
省エネルギー(アスエコ)	kl	—	—	4.92	4.87	4.82
省エネルギー(資源化)	kl	10.95	10.91	10.80	10.69	10.58
省エネルギー(自然保護)	kl	18.62	19.00	18.43	18.24	18.06
省エネルギー(津山)	kl	2.627	0.130	0.129	0.127	0.126
廃棄物排出量	kg	3,212	2,811	3,093.5	3,062.7	3,032.08
水使用量	m <sup>3</sup>	17,058	14,746	14,862	14,709	14,564
化学物質の適正管理	—	使用管理				

※1 購入電力排出係数は0.706kg-CO<sub>2</sub>/kWh(H26年度中国電力実排出係数)とする

※2 内尾事務所は環境事業部事業企画課、環境調査部、総務企画部とする

※3 延床面積の原単位とする

※4 水島管理事務所は排水処理場、水島クリーンセンター、水島処分場を含む

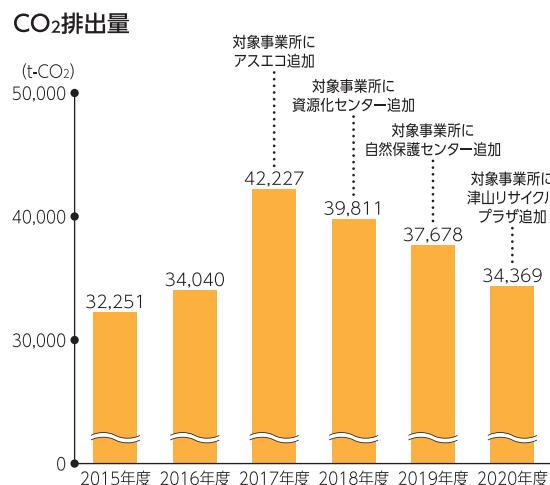
※5 汚泥の原単位とする

※6 汚泥、廃プラスチック類の原単位とする

		実績
受託した産業廃棄物処理量	中間処理量	73,143t
	中間処理後の産廃処分量	7,725t
	最終処分量	213,764t
受託した一般廃棄物の処理量	最終処分量	371t

# 環境経営計画とその実績

## 省エネルギー

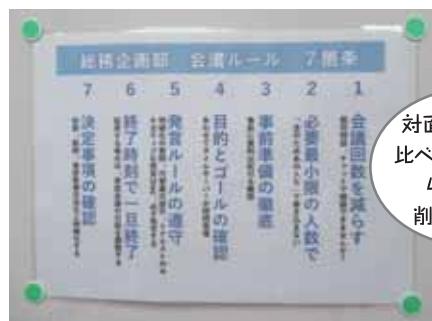


### 取組内容(一部抜粋)

- 総務企画部内離席時及び残業時消灯ルールの決定と周知
- 総務企画部主催会議のWEB会議による会議時間・残業時間の短縮化
- 総務企画部内の会議ルールの徹底、試行
- エアコン及び照明機器の清掃(5S)
- エコドライブの徹底

総務企画部では、WEB会議の積極的な導入や会議ルールの設定等により、業務効率化によるムダ・ムラ・ムリの削減に伴う電気使用量の削減を目指しました。総務企画部は全団的な会議を主催することが多く、他部所の参加者は事務所によっては1時間以上かけて内尾事務所まで集合していました。

そこで、WEBを活用した会議の開催や事前に会議の目的を決定する等の会議ルールを決定・徹底することで業務効率化を図り、省エネルギーの目標を達成することができました。次年度は水平展開を目指し、残業時等の消灯ルールを各部で策定、徹底する他、引き続きWEB会議による会議時間・移動時間の短縮に取り組みます。



会議ルール (総務企画部)



PHV車の充電

充電開始じゃ



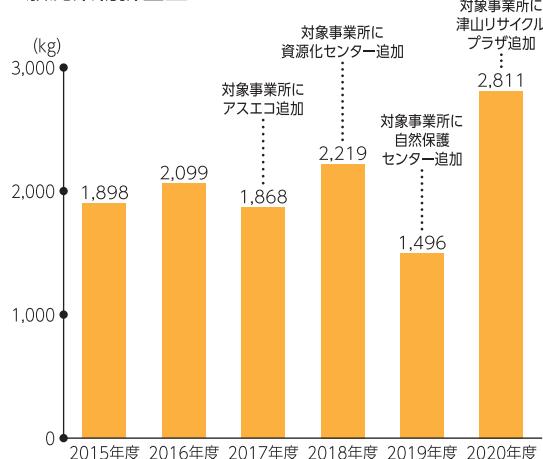
さらに、今年度は内尾事務所及び水島管理事務所の全照明のLED化を実施しました。LED化は2020年度で完了となるため、次年度以降はさらなる省エネに向け、省エネが徹底されているかのパトロールを実施していきます。



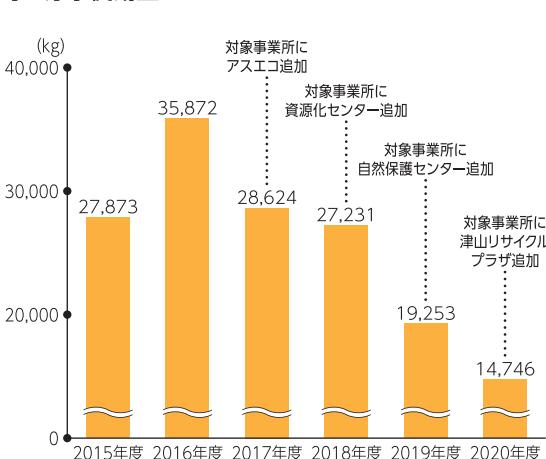
全館LED化

# 廃棄物、水、化学物質

## 一般廃棄物排出量



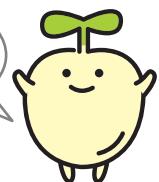
## 水、浄水使用量



### 取組内容(一部抜粋)

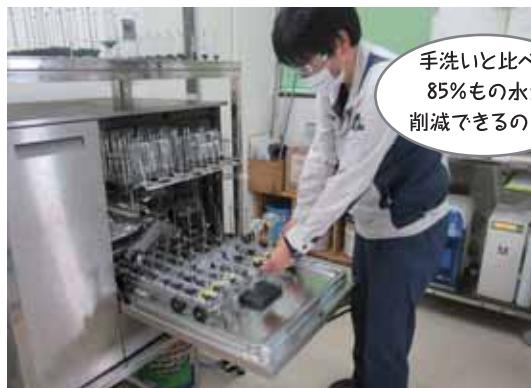
- ごみ分別の徹底
- 用紙裏面の再活用
- 洗車、樹木灌水等の工業用水の使用
- マイ水筒、マイカップ、マイ箸の励行
- 食品残渣等のコンポスト化の推進
- 節水表示による啓発

廃棄物排出量、  
水使用量とも  
目標達成したよ



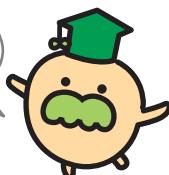
内尾事務所は廃棄物(金属ゴミ等)を決められた置き場に廃棄していますが、置き場ではない場所に廃棄されたり、分別ができていないものがそのまま廃棄されていましたと問題がありました。そのため、廃棄方法のルール化、周知の徹底及び置き場所を明確にする必要がありました。そこで、バッカンを設置し、部署・氏名を明記し、バッカンの中に廃棄するというルールにしたところ、分別もされ、置き場ではない場所に廃棄されることはなくなりました。

また従来は、原則、担当者の立ち合いのもと廃棄物の引き取りを実施していましたが、バッカンを設置したことにより、都度担当者が立ち会うことなく、業者による引き取りが可能になったため、生産性の向上にもつながりました。次年度も引き続きごみの分別等実施します。



自動洗浄装置

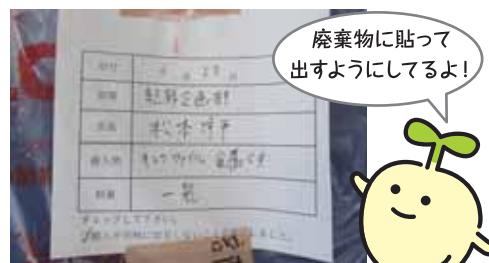
手洗いと比べて  
85%もの水が  
削減できるのじゃ



分析業務においてガラス器具等の洗浄に大量の水を使用していましたため、器具等の自動洗浄装置を導入しました。本洗浄装置は水使用量の削減だけでなく、洗浄時間の有効活用もできるため、生産性向上にもつながりました。次年度以降は本洗浄装置を増設するとともに、引き続き日常的な節水を実施していきます。



バッカン(廃棄物コンテナ)



ルール化の徹底

### 化学物質の適正管理

使用する薬品類の管理者を任命して、手順書に基づいて毒物や劇物などの使用状況を毎月確認することにより、化学物質の適正管理を行いました。また、関係する職員に薬品類の保管方法やSDS(安全データシート)の利用などの教育訓練を実施しました。2021年度も引き続き適正な管理を実施します。

# 代表者による全体の評価と見直しの結果

(作成日 2021年3月5日)

2020年度は国が「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、温室効果ガス排出実質ゼロに向けてスタートを切ったこと、さらに、第6期中期経営計画が始動することから経営における課題とチャンスを明確にするため、「経営理念」「環境経営方針」を改訂しました。

また、第6期中期経営計画は、SDGsの視点を加味した目標及び活動計画を策定しました。また、以下の取組が環境負荷の低減につながり、各部所における省エネルギー、当事業団全体の廃棄物及び水において、環境経営目標を概ね達成することができました。

## 【特にパフォーマンスの上がった取組】

- 働き方改革として、総務企画部によるWEB会議の導入等の実施により、残業時間が2018年度比で12%減、会議時間が14%削減
- 自動洗浄装置の導入による分析業務の水使用量の削減、生産性向上
- 資源化事業の試験効率化による生産性向上

さらに、コロナ禍においても新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、イベントの開催、ブログやSNSでの情報発信により、岡山県自然保護センターでは指定管理開始以降最大の利用者数、津山圏域クリーンセンタリサイクルプラザでは累計来館者数10万人を突破し、生産性向上及び環境経営を推進できたと実感しております。

環境経営目標、活動計画について、年々、レベルアップしていると実感しておりますが、2021年度はさらに良い活動につながるよう「具体性」、「達成基準が明確」な目標、マイルストーンを設定していきたいと思います。さらに、当事業団の事業活動はSDGsに直結していることから、各事業の目標・課題の推進が「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成につながることについて、全職員の理解を深める取組を実施してまいります。

公益財団法人 岡山県環境保全事業団

理事長 坂井俊英

## 環境関連法規等の遵守状況 (2020年4月～2021年3月)

環境負荷を低減するため、法規制よりも厳しい自主管理基準を設定し、環境関連法規の確認(年2回)を実施しています。過去3年間、環境関連法規違反、関係機関等からの指導、指摘、訴訟は1件もありません。

### 対象法令等一覧

法的及びその他の要求事項 対象法令等		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	エネルギーの使用の合理化に関する法律	地球温暖化対策の推進に関する法律
岡山県環境への負荷の低減に関する条例	大気汚染防止法	水質汚濁防止法
騒音規制法	振動規制法	土壤汚染対策法
瀬戸内海環境保全特別措置法	悪臭防止法	浄化槽法
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	使用済自動車の再資化等に関する法律 (自動車リサイクル法)
毒物及び劇物取締法	ダイオキシン類対策特別措置法	消防法(危険物関連)
高圧ガス保安法	放射性同位元素等の規制に関する法律	自然公園法
公有水面埋立法	岡山県環境影響評価等に関する条例	岡山県循環型社会形成推進条例
労働安全衛生法	公害防止協定・環境保全協定(倉敷市)	水質汚濁に係る環境基準について
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)		
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)		

# 許可事項

## 1. 廃棄物関連

### 【産業廃棄物処分業許可】

許可年月日及び許可番号	2016年3月27日 第10040005888号
許可の有効期限	2023年3月26日
事業区分	中間処理(焼却) 最終処分(埋立)
廃棄物の種類	【焼却】 汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く。) 【埋立】 燃え殻、汚泥(無機性汚泥に限る。)、廃油(タールピッチ類に限る。)、廃プラスチック類(自動車等破碎物を含む。)、ゴムくず、金属くず(自動車等破碎物を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)・陶磁器くず(自動車等破碎物を含む。)、鉛さい、がれき類、ばいじん、産業廃棄物を処分するために処理したもの(これらのうち石綿含有産業廃棄物を含む。)

### 【特別管理産業廃棄物処分業許可】

許可年月日及び許可番号	2015年8月20日 第10080005888号
許可の有効期限	2022年7月20日
事業区分	最終処分(埋立)
廃棄物の種類	【埋立】 廃石綿等

### 【産業廃棄物処理施設設置許可】

許可年月日及び許可番号	1997年2月10日 第3-(3)-2号
施設の種類	汚泥の焼却施設、廃プラスチック類の焼却施設
廃棄物の種類	【焼却】 汚泥、廃プラスチック類(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く。)

### 【産業廃棄物処理施設設置許可】

許可年月日及び許可番号	2010年2月25日 第(13の2)-K04号
施設の種類	産業廃棄物の焼却施設
廃棄物の種類	【焼却】 紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く。)

### 【一般廃棄物処理施設変更許可】

許可年月日及び許可番号	2003年3月20日 第200001号
施設の種類	最終処分場
廃棄物の種類	【埋立】 一般廃棄物溶融スラグ、ばいじん

許可年月日及び許可番号	2006年11月21日 第100002号
施設の種類	管理型最終処分場
廃棄物の種類	【埋立】 一般廃棄物(有機性のものを除く)

### 【産業廃棄物処理施設変更許可】

許可年月日及び許可番号	2017年3月27日 第(14のハ)-K01号
事業区分	管理型最終処分場(海面埋立)
廃棄物の種類	【埋立】 燃え殻、汚泥(無機性汚泥に限る。)、廃油(タールピッチ類に限る。)、廃プラスチック類(自動車等破碎物を含む。)、ゴムくず、金属くず(自動車破碎物を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず(自動車等破碎物を含む。)、鉛さい、がれき類、ばいじん、産業廃棄物を処分するために処理したもの(これらのうち石綿含有産業廃棄物を含む。)、廃石綿等
登録年月日及び登録番号	1976年1月17日 岡山県 第6-1号
事業区分	濃度に係る計量証明の事業

登録年月日及び登録番号	1976年1月17日 岡山県 第7-1号
事業区分	音圧レベルに係る計量証明の事業
登録年月日及び登録番号	1994年3月31日 岡山県 第8-1号
事業区分	振動加速度レベルに係る計量証明の事業

### 【作業環境測定機関登録】

登録年月日及び登録番号	1977年5月26日 岡山労働局 33-5
-------------	-----------------------

指定年月日及び指定番号	2003年8月8日 岡山県 2003-33000-1001
-------------	-------------------------------

### 【ISO/IEC17025】

認定年月日	2009年6月12日
事業区分	RTL02920、化学試験、産業廃棄物分析(産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法)、Cd:JIS K 0102 55.3、Pb:JIS K 0102 54.3、Se:JIS K 0102 67.3

## 3. 指定管理

### 【岡山県自然保護センター】

開始年月日及び指定管理期間	2007年4月1日~2025年3月31日
事業区分及び業務	岡山県公の施設指定管理者制度、施設等の管理・運営業務

## 4. その他

岡山県地球温暖化防止活動推進センター	【指定年月日】2002年5月30日 岡山県知事指定
岡山県循環資源総合情報支援センター	【指定年月日】2004年3月26日 岡山県知事指定
エコアクション21地域事務局	【認定年月日】2015年3月11日 認定番号 1-060

# 事業所一覧



## 内尾事務所

〒701-0212  
岡山県岡山市南区内尾665-1  
TEL.086-298-2122  
FAX.086-298-2496



## 津山圏域クリーンセンター ・リサイクルプラザ

〒709-4611  
岡山県津市領家1446  
TEL.0868-57-0153  
FAX.0868-57-2226



## 岡山県自然保護センター

〒709-0524  
岡山県和気郡和気町田賀730  
TEL.0869-88-1190  
FAX.0869-88-1195

## 阿新建設残土センター

〒718-0306  
岡山県新見市哲多町矢戸地内



## 水島管理事務所

〒712-8074  
岡山県倉敷市水島川崎通1-18  
TEL.086-440-0666  
FAX.086-444-2933



## 倉敷資源化センター

〒712-8074  
岡山県倉敷市水島川崎通1-18  
TEL.086-447-4850  
FAX.086-444-4575



## 環境学習センター「アスエコ」

〒700-0907  
岡山県岡山市北区下石井2-2-10  
TEL.086-224-7272  
FAX.086-224-7273

## 環境経営レポートについて

本レポートに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします

公益財団法人 岡山県環境保全事業団 総務企画部

〒701-0212 岡山県岡山市南区内尾665-1

TEL:086-298-2122 FAX:086-298-2496 URL:<http://www.kankyo.or.jp>

※赤枠表示は、エコアクション21に基づく  
環境経営システム対象事業所